

Ginkgo flower いちょうの花

中原小学校校長室だより 第12号 令和3年3月23日

6年生と最後の授業

6年生に授業をさせていただく機会をいただきました。内容は次のとおりです。

- ① 中学校の社会科で学ぶ内容を少し
- ② 歴史を学ぶとき必要なことは？
- ③ 出会いのなかで縁を生かす
- ④ 心の瞳
- ⑤ 未来とは？

最後に、6年生から感想をもらいましたので、紹介したいと思います。本当にありがとうございました。



残された少年とお父さんは、生きることを選んでよかったなと思いました。「心の瞳」は今日、初めて聞いて、家に帰ってまた聞いてみようと思いました。今日の授業はとても楽しく学べました。

初めて知ることたくさんあったので、これから何でも自分から興味を持って調べていきたいと思います。今日知った「縁を生かす」という詩や「心の瞳」という歌を「もしも自分だったら」に置き換えて考え、自分の考えを広げたいと思います。

校長先生にもそういう経験があったからこそ、「縁を生かす」や「心の瞳」などを教えてくれたのだと思います。この先、どんな経験をするか分かりません。だから、未来の話など、すべてがためになる話でした。今度、未来とは何か一度考えてみたいと思いました。

出会ってよかったと思いました。出会ってなかったら、立ち直れなかったと考えました。もし、自分がそういう立場だったら、心を開いていなかったり、声をかけられないと思いました。これから、いろいろな人と出会って声をかけたり、動いたりしていきたいです。

悲しいことがあったり、落ち込んだりしたときに立ち直れる人になりたい。困っている友だちがいたら、相談にのれる人にもなりたいと思いました。中国は昔から進んでいて、日本も中国の文化などを取り入れています。歴史ってすごいなあと思いました。

先生が声をかけなかったら、少年は笑顔を先生には一度も見せなかったと思います。相手のことをよく知ることが大切なんだと思いました。最後に、「心の瞳」という曲を教えてください、ありがとうございました。中学校でもがんばっていききたいです。

校長先生の言葉を聞き、自分を振り返ってみると「後でいいや」と思っていた結局、何もせずに終わってしまったことがありました。将来、困ったりしたときには今日の授業を思い出し、プラス思考を意識したいと思いました。

ご卒業、おめでとうございます。

卒業式の式辞を全文掲載します。「校庭の桜やいちょうの蕾もほころび始め、ふるさと中原の地にも春の息吹が感じられるようになりました。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためとは言え、大事な卒業式が例年と異なる式になってしまい、本当に申し訳なく思っています。

今日は、南小国町〇〇課長 〇〇様、南小国町教育委員会教育委員 〇〇様、南小国町教育委員会 〇〇様のご臨席のもと、令和二年度中原小学校卒業式が挙行できますことを、職員一同大変うれしく感じております。本当にありがとうございます。

〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、ご卒業おめでとうございます。

あなたたちは、伝統ある中原小学校の卒業生になります。これまで、たくさんの先輩方が築いてこられた伝統を引き継ぎ、さらに大きく中原小学校を発展させてくれました。感染症防止の制限を受けて大変な一年間でしたが、運動会やぎんなん祭など、それぞれの場面での活躍と笑顔が浮かんでいきます。本当に素晴らしいものでした。

これまで、多くのことをあなたたちと一緒に考えてきました。登竜門、プラス思考とその方法、命や人権を学ぶとき「自分だったらどうするか」を考える、大切な人がコロナウィルスに感染したらどうするか、自分を見つめて自分史を書く、歴史の事実を学んでイメージする、出会いのなかで縁を生かす、などです。一つでも覚えていてくれたら、幸いに思います。

お別れの言葉となりますが、この経験を糧に自信と誇りを持ち、未来に向かって進んでください。最後に、『未来を変えるには、現在の自分が努力し続けること』という言葉をおくります。現在の連続が未来になります。だからこそ、現在を大切にしてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。お子様の健やかな成長を願って支えてこられた皆様にはさぞや苦労も多かったことでしょう。今日の佳き日を迎え、立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。本日をお祝いし、義務教育六年間を終了しました。これまで、大切なお子様をお預かりし、地域とともに、夢実現に向けて自ら考え、心ゆたかでたくましく伸びる「中原っ子」を育成する教育を保護者の皆様と一体となって、行ってまいりました。ご期待に添えない部分もあったかと思いますが、本校に対するご理解とご協力、ありがとうございました。今後ともどうぞ、よろしく願いいたします。

それでは、卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念いたしまして、式辞といたします。」

伝統を受け継ぎ、発展させる

修了式で、子どもたちにこんな話をしました。

「ふるさと中原で教育が始まってから何年になると思いますか？148年です。今の中原小学校になってから76年になります。卒業していった6年生は76回目の卒業生ということになります。とてもすごいことだと思いませんか？あなたたちのお父さん、お母さんだけでなく、おじいちゃんやおばあちゃん、そして、もっと前の先輩がつくりあげてきた伝統が今につながっています。6年生も長い間、つながってきた伝統を受け継ぎ、発展させるために努力してくれました。さあ、今度はあなたたちの番です。それでは、最後に、元気、元気、元気！」

